

# 新たな碎石動態調査開始

## 経産省統計調査に替わる統計

日本碎石協会（西村耕一会長）は経済産業省の依頼を受け、2020年1月から新たな碎石動態調査を開始する。製造業局素材産業課の碎石製造業を対象にした四半期ごとの「碎石等動態統計調査」に替わる自主統計作成を目的に、協会会員、非会員の区別なく碎石事業者（日本標準産業分類E2181）の月次生産量等のデータを収集し、適時適切に公表する。



碎石動態調査 2020年 1月分

※必須

メールアドレス\*

メールアドレス

道施用砂石の生産量（千t）

道施用には、グラッシャーライン、スクリーニングス、その他のあります。砂岩は、半角英数で、但づけの、（コン）を付けてないで入力して下さい。小数点のある数値の場合は、小数第一位で四捨五入して整数にしてください。

留めを入力

19年12月16日の西村会長と吉村一元素材産業課長との意見交換において碎石等動態統計調査への移行の打診を受け、碎石業界を束ねる協会としてより良い碎石業を創出するため基礎データを収集する統計事業に取り組む。協会ホームページ上に調査専用ページを作成し、調査は月報までに報告を受け付け

1～12月の過月分の締め切りは2月末まで。非会員には支部や地方本部から協力を要請していく。

各労働者数⑥12月末時点の設備公称能力（一次クリッシャー、乾式・湿式碎砂製造プラント、自家発電）。碎石生産や出荷、労務等についての碎石等動態統計調査の内容

①道路用・鉄道用・割栗石・その他用の各生産量、出荷量、在庫量②総出荷額③消費電力量④灯油・軽油・重油各消費量⑤常用・臨時・請負各労働者数⑥12月末時点の設備公称能力（一次クリッシャー、乾式・湿式

スマートフォンで入力し、協会本部に送信する。①ホームページの「MENU」から「碎石動態調査」を選択②「碎石動態調査（会社の保存用データシート）」に入力③そのデータシートをみながら月別の調査票（＝画像）に入力し「送信」する。インターネットに接続している環境にあり、かつスマートフォンを使っている従業員のいない事業者は所属支部や

がない。

調査方法は、協会ホームページ（<http://www.saiseki.or.jp/>）の

協会本部の代行入力は禁止されている。協会本部の代行入力は禁止されている。

企業を対象とし、調査対象数は約1200事業所で回収率は約9割である。素材産業課は18暦年の調査で生コンクリート流通統計調査を中止し、碎石等動態統計調査も19暦年調査を区切りに民間経産省の碎石等動態統計調査は1979年に始まり採石法に定められた鉱物のうち石灰石、岩石と、鉱業法に定められた鉱物のうち石灰石、ドロマイトの碎石を行なう全国の事業所や

碎石関連組合等での代行入力を呼びかけている。